



IMAGINEER

**2014年3月期
決算短信補足資料**

2014年5月14日

イマジニア株式会社

(JASDAQ:4644)

構成

- 決算概況
- 連結損益計算書 2期比較
- 連結売上高及び各段階利益の推移
- セグメント情報
- セグメント売上高及び利益の推移
- トピックス
- 2015年3月期 セグメントの業績 計画値
- 2015年3月期 連結業績・配当予想

決算概況

(百万円)

	2014年3月期 (累計期間)	2013年3月期 (累計期間)	対前期	
			増減	増減率(%)
売上高	3,693	3,689	+4	+0.1
営業利益	676	724	△ 47	△ 6.6
経常利益	868	769	+98	+12.8
当期純利益	593	511	+82	+16.0
包括利益	599	570	+28	+5.1
1株当たり当期純利益(円)	61.87	53.31	+8.56	—

	2014年3月期末	2013年3月期末	対前期	
			増減	増減率(%)
総資産	8,991	8,985	+5	+0.1
純資産	8,468	8,079	+388	+4.8
自己資本	8,464	8,075	+388	+4.8
自己資本比率(%)	94.1	89.9	—	—

連結損益計算書 2期比較

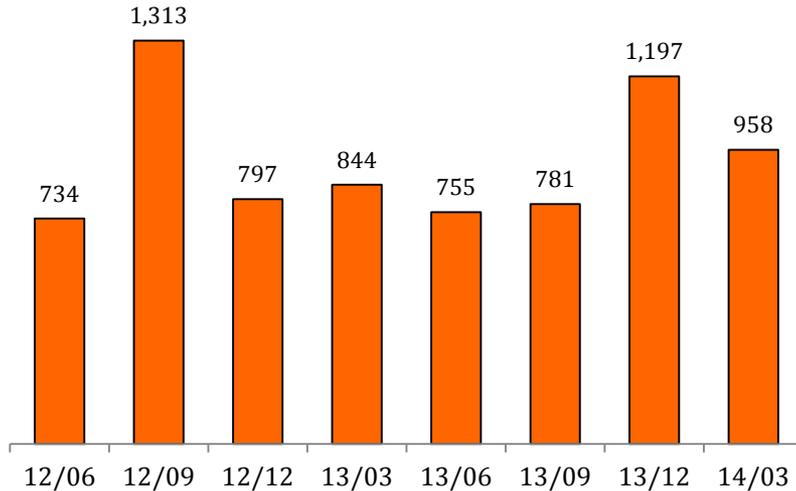
(百万円)

	2014年3月期 (累計期間)	2013年3月期 (累計期間)	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
売上高	3,693	3,689	+4	+0.1	
売上原価	1,652	1,535	+116	+7.6	モバイルコマース事業の増加
販売費及び一般管理費	1,364	1,428	△64	△4.5	
営業利益	676	724	△47	△6.6	
営業外収益	200	69	+130	+186.5	資金運用の運用益
営業外費用	8	24	△15	△64.0	
経常利益	868	769	+98	+12.8	
特別利益	322	148	+174	+117.3	資金運用の売却益
特別損失	219	10	+209	—	資金運用の売却損
税金等調整前当期純利益	970	907	+63	+7.0	
税金費用	376	395	△18	△4.7	
当期純利益	593	511	+82	+16.0	

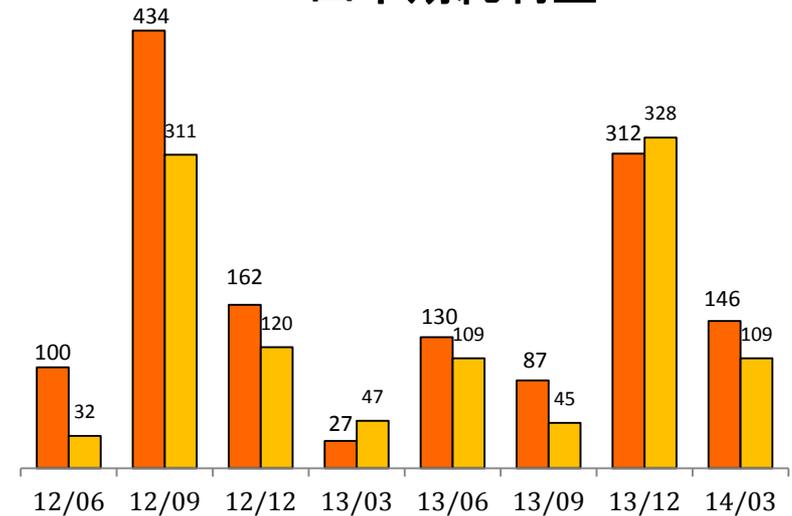
連結売上高及び利益の推移

(百万円)

売上高



営業利益および 四半期純利益



■ 営業利益 ■ 四半期純利益

セグメント情報

(百万円)

■ 売上高

	2014年3月期 (累計期間)	2013年3月期 (累計期間)	対前期		
			増減	増減率(%)	主要因
モバイルコンテンツ	2,436	2,410	+26	+1.1	
モバイルコマース	554	417	+136	+32.8	大型コラボ案件の増加
パッケージソフトウェア	431	633	△202	△32.0	新作タイトルの売上高減少
投資教育	271	232	+39	+17.0	
合計	3,693	3,693	△0	+0.0	
調整額	△0	△4	+4	—	

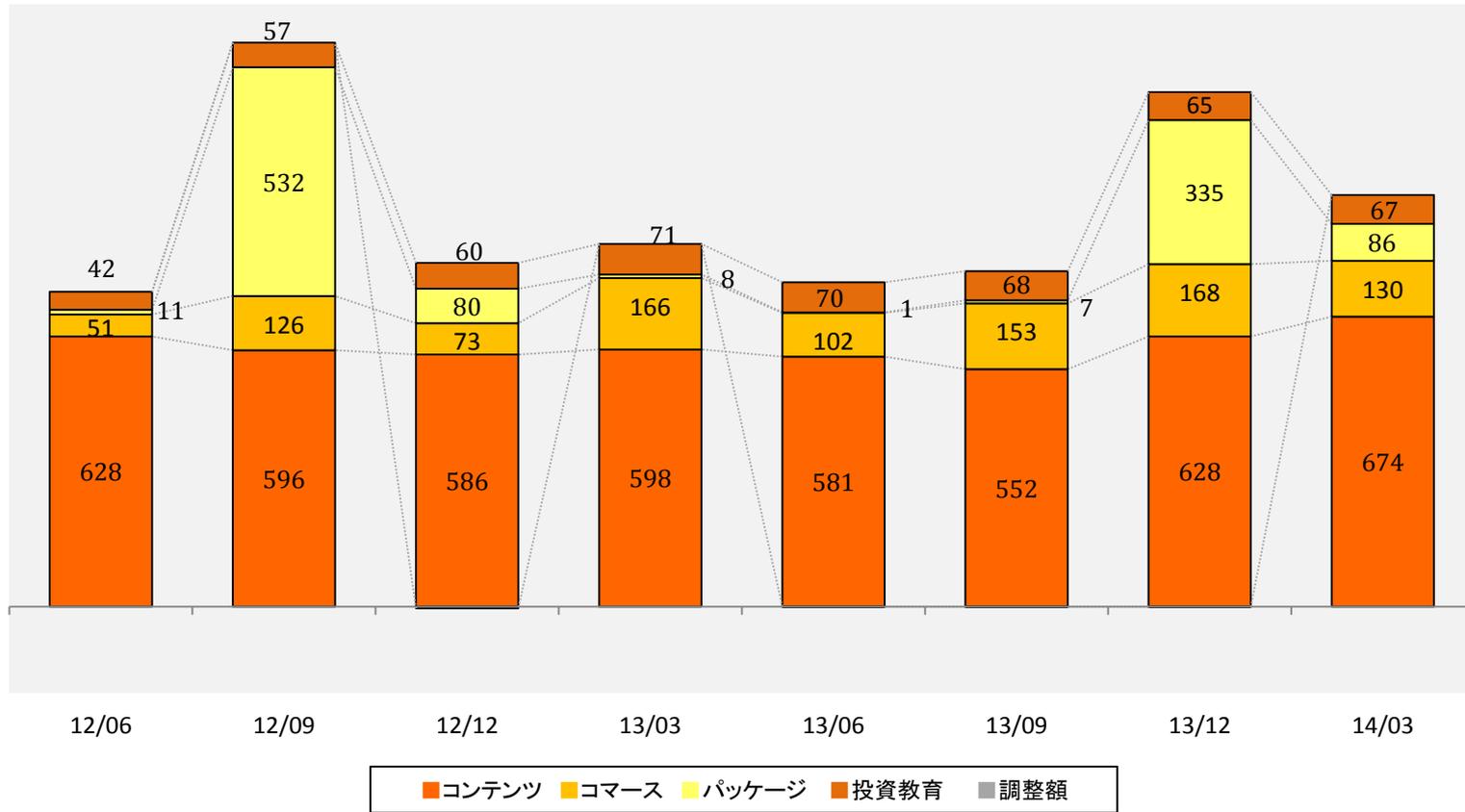
■ セグメント利益(営業利益)

モバイルコンテンツ	906	949	△43	△4.6	
モバイルコマース	18	△28	+46	—	
パッケージソフトウェア	2	58	△56	△95.1	売上の減少による
投資教育	13	8	+4	+53.6	
合計	940	989	△48	△4.9	
調整額	△264	△264	+0	—	

セグメント売上高の推移

売上高

(百万円)



トピックス(モバイルコンテンツ)

新メディアへのコンテンツの拡充

～LINE、カカオトーク～

登録ユーザー数が全世界で4億人を突破したメッセージサービス「LINE」へのコンテンツ提供を拡充しました。当期は17種類のキャラクタースタンプの提供を開始し、「LINE着せかえ」や「LINE PLAY」にもサービスの提供を開始しています。

また、「カカオトーク」にも新規参入し、コンテンツの提供を開始しました。

今後も新メディアや新サービスに積極的に参入し、収益機会の拡大を図っていきます。



キャリア主導サービスへのコンテンツ提供

～スゴ得コンテンツ～

厳選コンテンツをキャリア主導でパッケージ化し定額で月額販売するサービスにも当社の主力コンテンツを提供しています。当期は、2013年5月よりサービスが開始されたNTTドコモ「スゴ得コンテンツ™」に計5サイトを投入して新規参入しました。



NTTドコモとの共同事業開始

～10 M TV オピニオン～

著名な有識者の叡智を凝縮した『生の声』を伝える、スマートフォン時代の新しい教養メディア「10 M TV オピニオン」(テンミニッツテレビオピニオン)のサービスをNTTドコモとの共同事業として2014年2月より開始しました。



トピックス(モバイルコマース)

人気商品とのコラボレーション実現

～「小枝」「おっとと」～

サンエックス株式会社の大人気キャラクター「リラックマ」が10周年を迎えたことを記念して、森永製菓株式会社の大人気商品「小枝」と「おっとと」において、「リラックマ」の期間限定パッケージでのコラボレーションを実現しました。



© MORINAGA & CO., LTD.

キャンペーンタイアップの強化

～カルピスブランド×リラックマ タイアップキャンペーン～

前期に引き続き、カルピス株式会社の「カルピス」ブランドの商品を対象に実施された消費者向けキャンペーンにおいて、リラックマとのタイアップを実現しました。

人気商品等とのコラボレーションや大手企業とのさまざまなキャンペーンへの各種タイアップにより、当社が取扱うキャラクターの一層の認知浸透と普及拡大に努めています。



「カルピス」はカルピス株式会社の登録商標です。

トピックス(パッケージソフトウェア)

定番シリーズタイトル／人気キャラクター初のゲームソフト発売

～「メダロットDUAL」～

～「くまモン★ボンバー パズル de くまモン体操」～

当社グループのオリジナルキャラクター定番タイトル「メダロット」のニンテンドー3DS向け新作「メダロットDUAL」を2013年11月に発売しました。従前のメダロットとは異なり新機軸のアクションゲームとして今作を発売し、新たなファン層の獲得に成功しました。

また、熊本県のPRキャラクターで、いまや全国区の人気を誇る「くまモン」初のゲームソフトを、2014年3月、ニンテンドー3DS向けに発売しました。ゲームというバーチャルな体験を通じて、くまモンが日本中に元気を届けるお手伝いをし、結果として熊本県のPR活動にも貢献したいと考え、本作の収益の一部を熊本県に寄付しています。



カブトVer.



クワガタVer.



くまモン★ボンバー
パズル de くまモン体操

© Imagineer Co., Ltd.
© 2013 Rocket Co., Ltd.
© 2010 kumamoto pref. kumamon
© Rocket Co., Ltd.
※ニンテンドー3DSのロゴ・ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。

トピックス(投資教育事業)

子会社の異動

投資信託提案支援システム「投信ナビ」のHTML化を行い、当システムの導入の拡大を進めてまいりました。

投資教育事業の経営意思決定と経営資源の集中を目的に、連結子会社イマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社の全株式を2014年3月28日付で当社関連会社のストックウェザー株式会社へ譲渡。

2015年3月期 連結業績・配当予想

(百万円)

	2015年3月期 (累計期間) 予想	2014年3月期 (累計期間) 実績	対前期	
			増減	増減率(%)
売上高	3,725	3,693	+ 32	+ 0.9
営業利益	700	676	+ 23	+ 3.4
経常利益	700	868	△ 168	△ 19.4
当期純利益	420	593	△ 173	△ 29.3

1株 当たり 配当金 (円)	中間	10.00	10.00
	期末	12.00	12.00
	年間	22.00	22.00
配当性向(%)		50.3	35.6

2015年3月期 セグメントの業績 計画値

(百万円)

		2015年3月期 (累計期間) 計画値	2014年3月期 (累計期間) 実績	対前期	
				増減額	増減率(%)
モバイル コンテンツ	売上高	2,864	2,436	+ 427	+17.6
	セグメント利益	981	906	+ 75	+ 8.3
	利益率(%)	34.3	37.2	△ 2.9P	—
モバイル コマース	売上高	320	554	△ 233	△ 42.2
	セグメント利益	△ 28	18	△ 46	—
	利益率(%)	—	3.4	—	—
パッケージ ソフトウェア	売上高	540	431	+ 109	+ 25.4
	セグメント利益	25	2	+ 22	+775.6
	利益率(%)	4.6	0.7	+3.9P	—
その他	売上高	—	271	—	—
	セグメント利益	—	13	—	—
	利益率(%)	—	5.0	—	—
調整額	売上高	0	△ 0	+ 0	—
	セグメント利益	△ 278	△ 264	△ 14	—
合計	売上高	3,725	3,693	+ 32	+ 0.9
	営業利益	700	676	+ 23	+3.4
	利益率(%)	18.8	18.3	+ 0.5p	—



IMAGINEER

本資料には将来的予測に関する記述が含まれています。これら記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。多くの要因の変化等により、実際の業績等は、将来的予測とは異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。